

奨励賞

1 新築の建物
1-2 教育・文化・医療・福祉系の建物



設計担当者

勝山太郎

(株)日建設計、大阪府建築士会



共同設計者

甲斐圭介

元日建設計、STUDIO KAI
兵庫県建築士会

浅田翔大

(株)日建設計
大阪府建築士会

大学／愛媛県松山市

松山大学御幸キャンパス

クラブアクティビティエリア(100周年記念施設)

構造 | 鉄骨造

階数 | 地上2階

敷地面積 | 31,025.07㎡

建築面積 | 7,032.30㎡

延べ面積 | 8,180.15㎡

竣工年 | 令和2年



1



2



3



1階平面図

- 1 溶融垂鉛めっきによる鉄骨フレームとコンクリートスラブ、ALC壁とガラスによるシンプルな要素のみで構成したメインアリーナとクラブハウス
- 2 メインアリーナはインナーコラム (H300×200)、アウターコラム (150角) のダブルコラム形式とすることで35mのロングスパンを繊細な架構で実現。2階の観覧席にはインナーコラムを落とさず上から吊ることで、遮るものが無い開放的な空間とした
- 3 クラブハウスはすべて外廊下とし、中庭に面して配置することでさまざまな活動を表出させる

選評

松山市郊外にある松山大学の課外活動のための部室群および体育館と練習場の複合施設である。

敷地は住宅地と背後の山の中間にあり、設計者はメインアリーナなどボリュームが大きな施設を山側に配置し、それを取り囲むようにボリュームの小さな部室群を住宅地側に雁行させて配置させた。それにより住宅地からは親し

みやすい外観となり、大規模施設にもかかわらず周辺環境との調和が図られている。

またローコストでの実現を可能とするために徹底したユニット化と同一規格の鋼材の使用、仕上げ素材の限定が行われているが、プランニングのセオリーと構造計画が明快で、各部のディテールが周到に考え抜かれていることにより、厳しい条件を逆手に取りシンプルで無駄や

虚飾がない清々しい美学をもった建築に昇華されている。さらにプランニングの工夫により松山の温暖な気候風土に合った風通しのよい中間領域が各所につくられていて、学生たちの不特定な出会いや交流の場を多く提供している点も高い評価となった。(横内敏人)